【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2003-222432(P2003-222432A)
【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)
【出願番号】特願2002-22086(P2002-22086)
【国際特許分類】
　Ｆ２５Ｂ　33/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｆ２５Ｂ　33/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月27日(2005.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【請求項１】　上部管板と下部管板と垂直伝熱管群とを備え、該垂直伝熱管内に吸収溶液が通り、垂直伝熱管外に熱源となるガス流体が通る吸収冷温水機用再生器において、前記上部管板と下部管板との間に、垂直伝熱管群と、管外部を断熱材で構成するか、又は、外管と内管の二重構成とした複数本の降液管とを設けたことを特徴とする吸収冷温水機用再生器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
　　【０００５】
　【課題を解決するための手段】
　上記課題を解決するために、本発明では、上部管板と下部管板と垂直伝熱管群とを備え、該垂直伝熱管内に吸収溶液が通り、垂直伝熱管外に熱源となるガス流体が通る吸収冷温水機用再生器において、前記上部管板と下部管板との間に、垂直伝熱管群と、管外部を断熱材で構成するか、又は、外管と内管の二重構成とした複数本の降液管とを設けることとしたものである。
　前記再生器において、降液管は、液側が鋼鉄製で、ガス流体側が断熱材で構成されているか、又は、外管と内管の二重構成の管であり、外管と内管の間の隙間の上部管板付近に、隙間を円周方向に塞ぐように、邪魔板を設けていることとすることができ、その際、内管の一部が上部管板からさらに上に突き出し、該突き出し部分の一部が半円状にカットされ、該カット部分が前記邪魔板部分と半径方向でほぼ一致しているのがよい。